

県内取組事例

事業者：株式会社教育情報サービス（宮崎市）
資本金：6,450,000円 業種：情報通信業 従業員数：17人

クラウド

AI

事業名：生成AIと動画制作システムを連携した添削動画自動生成システムの開発事業



AIによる添削結果を自動で動画化するシステムを構築。添削業務の省人化と差別化を実現！

【概要】

- ・自社の添削事業において、外注による「人の添削」から「AIの添削」に順次移行することにより省人化を行い経費を節減する。
- ・AIによるテキストの添削結果を自動で動画生成することにより、他のAI添削サービスとの差別化を図り、サービスの売上向上を目指す。

【主な取組】

- ・英語版のAI添削システムを導入し、APIを開発。AIから排出されるテキストデータを独自のシステムに蓄積する機構を開発した。
- ・蓄積されたテキストデータを用いて動画を自動で生成する機構を開発した。
- ・AIから生成される添削結果が適正なものとなるよう、チューニングを行った。

【事業の目標】

（定性目標）

- ・高品質な添削結果を、理解しやすく効果的な動画で提供する。

（定量目標）

- ・情報セキュリティ対策：令和5年10月「Security Action」★★二つ星取得
- ・労働生産性の伸び率：1年目 1.1%、2年目：7.5%、3年目：13.1%

【取組を行う背景】

- ・国内の約10万人の高校生を対象に英文添削サービスを行っているが、外部人材による添削のため、経費がかさんでいる。
- ・AIを活用した英文添削は他社がサービス展開を開始しており、低価格化も進んでいる。これに対抗するには新しいコンセプトの添削が必要である。

【効果（成果）】

- ・効果①：添削結果の提供スピードが増した。（一つにつき約3分で提供）
- ・効果②：類題の提示など、人力の添削では提供できないものを実現できた。
- ・効果③：「動画の添削」という新たなサービスで、他社との差別化ができた。
- ・効果④：国内外の協業企業による評価が高く、販路が広がった。

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

- ・3年間合計で約1,000万円の添削経費を節減する。（当初の1年間で約200万円の開発費を使用）
- ・学習塾へのサービス構築を行い、完成次第、宣伝・広告を行う。（広告費用は約300万円）
- ・途上国でのサービス構築を行い、2026年1月から現地企業を通して販売を行う。（開発費約200万円、広告費約100万円を使用）

■生徒の英文に対する正しい英文を描画

YOUR ANSWER

I love Mr. Hunt. He is an teacher of English. The way he teaches English is very excited. he makes us to do funny movement with everyone in the class. i do not admire him because he do not give us good grsde s instead really bad grades.

CORRECTION

I love Mr. Hunt. He is **an** English teacher. The way he teaches English is very **exciting**. **He** makes us do funny **movements** with everyone in the class. I do not admire him **be**.

■最終コメント（励まし）

MESSAGE

You're on the right path with your writing. Remember, practice makes perfect. Keep working on your grammar and vocabulary, and you'll see great improvement. Your enthusiasm for learning is your biggest strength!

あなたは正しい道を進んでいます。練習が完璧をもたらすことを忘れず、文法と語彙力を磨き続ければ、大きな進歩が見られるでしょう。学ぶことへの熱意があなたの最大の強みです！

